

施策 9 文化財の保存と活用

指標1	【項目】 伝統的建造物の復原等修理費への助成件数			【説明】 川越の町並みを市民や来街者が歩いて体感できるよう実施した伝統的建造物の復原等修理費助成の累計件数				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	件	75	78	82	86	90	95	93
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・経過目標程度の修理事業等を計画的に実施しています。 ・令和6年度は真壁造り町家1件、和風住宅1件、土蔵2件、店棟・渡廊下1件の修理事業に助成を行い、外観の保全と安全性の向上を図ることができました。 								
指標2	【項目】 重要伝統的建造物群保存地区の防災に関する活動への参加人数			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区及びその付近に整備した防災設備を使用しての防災訓練等の参加人数				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	人/年	35	8	12	59	54	57	50
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・令和5年度同様、開催内容を工夫したことに加え、川越一番街商業協同組合理事長にお願いし、テナント店舗の従業員に訓練参加を呼びかけてもらうことで、目標値を超える参加がありました。 ・今後も開催内容や周知の方法を工夫することで、多くの方に防災訓練に参加してもらえるよう努めます。 								
指標3	【項目】 河越館跡地の史跡公園整備事業進捗率			【説明】 国指定史跡河越館跡の指定範囲内における史跡公園整備事業の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	30.4	33.4	36.4	36.6	44.6	48.7	50.0
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・令和6年度は、「史跡河越館跡保存活用計画」の策定を行いました。また、史跡外の外周整備工事を実施し、暫定駐車場の整備及び道路新設工事を行いました。 ・令和7年度は第2期整備基本計画の検討及び、道路新設工事が完了する予定であるため、今後も進捗率が上昇する見込みです。 								
指標4	【項目】 郷土学習を受けた学級数			【説明】 文化財保護課・博物館職員による出前授業とバス利用による博物館内授業を受けた学級数の合計				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	学級	266	74	185	304	279	283	285
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 博物館 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 【文化財保護課】 ・学校からの依頼が減少したため、教員等と協議し、より学習効果が高まるよう工夫する必要があります。 【博物館】 ・令和6年度は、出前授業の増加等により、令和5年度よりも実績値が増加しました。引き続き、学校と連携し、目標値を達成できるよう努めます。 								

施策 9 文化財の保存と活用		総合評価 A
総合評価について	<p>全体として進捗は順調であり、評価も良好です。</p> <p>特に、指標1の「伝統的建造物の復原等修理費への助成件数」については、伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、実績値が目標値を上回りました。引き続き、修理事業等を計画的に進め、伝統的建造物の保全及び安全性の向上のための取組を継続します。</p> <p>また、指標3の「河越館跡地の史跡公園整備事業進捗率」についても、史跡外の外周整備工事や暫定駐車場の整備及び道路新設工事を行い、実績値の進捗は順調です。令和7年度は第2期整備基本計画の検討に加え、道路新設工事が完了する予定であるため、更なる進捗率の向上が見込まれます。</p> <p>既に目標値を達成できている指標も多く、令和7年度においても引き続き、文化財の保存と活用のための取組を進めていきます。</p>	
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山王塚古墳について、公有化等も含め、学者の立場からも積極的に取組を進めていただきたいと思う。 ・ 歴史的建造物については、産業化や観光化を考慮しつつ、文化財としての本質的な価値を損なわないように維持しながら、今後もバランスの取れた活用を行っていただきたい。 ・ 文化財については、予算もかかることであり、行政の支援にも限界が存在するため、保存することだけを目的とせず活用することも視野に入れて価値を判断して指定すべきである。 ・ 文化財の保護については、ものとしての文化財だけでなく、技術の伝承など無形の文化財についても、しっかりと注視しながら施策を進めていくことが大切である。 	

【施策】 9 文化財の保存と活用
 【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	①文化財の保存と活用			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えるために、文化財の保存に努めるとともに、関係各課と連携し、文化財の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・文化財を次代に継承するため、所有者支援の在り方について関係者とともに検討します。 ・効率的な試掘・確認調査等の実施により、埋蔵文化財に関する基礎情報の収集に努め、工事関係者との保護調整により、埋蔵文化財の効果的な保存を図ります。 ・未指定を含めた文化財について、地域社会とともにその保存・活用を総合的かつ計画的に実行するため、文化財保存活用地域計画を策定します。 				
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査件数83件（発掘調査件数8件、試掘調査件数 75件） ・その他文化財調査件数 91件 ・永島家住宅（旧武家屋敷）見学者数 1,577名、教育施設等への埋蔵文化財貸出件数 3件、博物館等での県指定文化財の公開件数 3件 				
成果実績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	文化財調査件数（件）	29	22	91	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、指定文化財確認済皆調査を開始したため、文化財調査件数が増加しました。 ・埋蔵文化財調査は、民間の開発に伴う試掘調査が多い状況です。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他文化財調査は、突発的な事案が多いため、優先度を考慮し計画的に調査し、対応していく必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、効率的に調査を実施できるよう委託等の活用を検討します。 ・その他文化財調査は、「川越市文化財保存活用地域計画」の方針に基づき計画的な調査に努めます。 				

細 施 策	②無形民俗文化財の保存と後継者の育成			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援します。 ・後世に伝えるための後継者育成の取組を積極的に支援します。 ・映像や画像による記録を行い、保護団体による文化財の伝承に活用できるよう努めます。 				
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者養成・保存事業実施団体数 17件 ・無形民俗文化財映像記録撮影数 2件（新宿雀ノ森のお焚き上げ、南大塚の餅つき踊り） 				
成果実績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	後継者養成事業実施団体数（件）	12	16	17	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能・年中行事等の事業は例年通り行われました。 ・民俗芸能後継者養成や祭礼行事の保存、用具の保存修理等の事業に対し、保護団体に補助金を交付しました。用具修理に関する相談について、技術的な指導・助言を行いました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等の影響もあり、地域の伝統行事や民俗芸能の継承が課題です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能の後継者養成、祭礼行事の保存、用具の保存修理のため、補助金・助成金に関する情報を収集するとともに、適切に補助金を保護団体へ交付していきます。 ・特に、継承が難しくなっている民俗芸能・祭礼行事について、団体への聞き取り調査を継続して実施し、各団体が抱える課題を把握するとともに、対応策を検討していきます。 ・平成29年度より実施している無形民俗文化財行事の映像記録保存について、未撮影の行事を優先に、地域の方々と協議しながら進めていきます。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用
 【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	③重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	担当課	関連指標
		都市景観課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の保存修理等を実施し、あわせて官民連携による保存技術の継承や、担い手の確保と育成等に努めます。 ・ 伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備に努めます。 <p style="text-align: right;">その他の関連指標: 指標2</p>		
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業（国庫補助対象）/中島家住宅主屋:木工事・屋根工事・左官工事・塗装工事・板金工事 山崎家住宅袖蔵:左官工事・塗装工事 出窪家住宅主屋:木工事・屋根工事 元町稲荷神社本殿:木工事・屋根工事・左官工事 山屋シュロの間及び渡廊下:木工事・屋根工事・板金工事 ・ 地区の啓発パンフレット作成/伝建地区の建造物MAP・防災虎の巻 ・ 防災訓練支援/川越まつり会館での地元主体の防災訓練の実施 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。 ・ これまでに行ってきた技術者へのヒアリングから課題抽出を行い、伝統工法の技術継承のための取組を検討しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の住民や事業者等が災害発生時に適切な活動ができるよう地域主体による定期的な訓練の実施を支援し、防災意識を醸成する必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。 ・ 市が交付する補助金の財源を確保するため、文化庁等との連絡調整に努めます。 ・ 伝統工法の技術を有する技術者や関係団体等を対象としたヒアリング調査結果から歴史的建造物の保存技術の継承策を検討します。 ・ 周知方法や開催内容を工夫しながら自治会等を中心とした防災訓練の開催を支援していきます。 		

細 施 策	④河越館跡の整備・活用	担当課	関連指標
		文化財保護課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土学習の場、市民の憩いの場として河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。 		
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川越市河越館跡整備検討委員会を3回開催し、保存活用計画（素案）の内容を検討・策定 ・ 史跡の外周整備工事として、暫定駐車場の整備及び道路新設工事を実施 ・ 令和7年3月25日に現地見学会を実施 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡の計画的な保存と活用を図るため、「史跡河越館跡保存活用計画」を検討・策定しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡外の未整備地の整備事業を遅滞なく実施する必要があります。 ・ 史跡内の未整備地の整備事業を進めるための計画を検討する必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度は、整備の方向性や手法を決定する第2期整備基本計画の検討を進めるとともに、道路新設工事を完了させます。 ・ 令和5年度に策定した「川越市文化財保存活用地域計画」を踏まえ、中長期的なスケジュールの検討や史跡周知のための活用事業を実施します。 		

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	⑤山王塚古墳の保護			
	担当課			関連指標
	文化財保護課			—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として国指定史跡とすることを目指し、関係機関と協議を進めていきます。 			
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市山王塚古墳整備検討委員会を立ち上げ、会議を2回実施（山王塚古墳保存活用計画素案の検討） 令和6年8月3日開催の遺跡発表会で山王塚古墳の紹介（現地説明会は河越館跡と隔年実施のため、未実施）。 			
成果実績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	山王塚古墳現地説明会等参加者数（名）	124	202	42
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月20日、国史跡に指定されました。現在は川越市で保存管理を行っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡の保存活用のための取組を計画的に行う必要があります。 史跡を良好に維持するため、下草や樹木の伐採、剪定による定期的な管理が必要です。 遺構の保存に必要な範囲のうち、地権者、占有者に指定の同意を得られなかった範囲があります。 史跡の価値・重要性を考えると、山王塚古墳の周知が不十分です。 現状では大半が民有地であるため、今後土地の公有化が必要です。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 山王塚古墳の整備と活用を促進するため、令和6年度から山王塚古墳保存活用計画の策定に向けた検討作業を開始しました。 地権者・占有者が利用している範囲以外については、除草等の環境整備を実施し、史跡の価値を目視できるように努めます。 国指定へ同意が得られなかった地権者・占有者に対し継続的に説明を行い、同意が得られるよう努めます。 市民等に対して、国指定史跡の歴史的価値を周知するため、普及啓発を継続します。 			

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	①文化財保護意識の啓発			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 先人の営みの中で生まれ、大切に護り伝えられてきた文化財の価値と保存の意義について、わかりやすく多くの人に伝え理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。 埋蔵文化財は、日常生活では目に触れることがない地下に存在することから、その周知を図るとともに、市民の保護意識の醸成に努めます。 				
令和6年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市の文化財等を紹介するホームページの更新 公民館等への講師派遣数 20件 主催講座実施 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年8月3日「遺跡発表会」42名参加 令和7年1月16日、30日「たかしな遺産めぐり4」15名参加 令和7年3月7日「名細地区の歴史講座 石造物の見方」34名参加 令和7年3月25日「史跡河越館跡現地見学会」64名参加 				
成果実績	項目名(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	職員を講師として派遣した件数(件)	22	25	20	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地は市内360箇所以上に点在しており、所在・範囲を随時更新し、常時窓口で最新の情報を閲覧できるように備えています。 遺跡発表会を通して市内から出土した遺物に触れる機会を提供したり、フィールドワークを行ったりすることで地域の文化財や歴史文化を身近に感じてもらうなど、主催事業の実施を通して文化財保護意識の啓発に努めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間開発に伴う発掘調査成果は、個人資産に関する情報であるため、公開については慎重に検討する必要があります。 市内各地域に存在する指定文化財等の歴史遺産を啓発するため、公民館等と協力し、市民に向けた講座を継続して実施することが必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査成果を発信可能と判断した遺跡について、遺跡発表会や見学会を通じて公開します。 文化財保護意識の啓発のため、市民向け講座を継続して実施していきます。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用
 【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	②地域の歴史・伝統文化の継承に向けた学びの促進	担当課	関連指標
		文化財保護課・博物館	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が地域の歴史・伝統文化への興味・関心を高め、誇りや愛着をもって大切に継承する心を育むため、出前授業及び博物館による積極的な学習の機会の提供を図ります。 ・川越の歴史や文化を守り続けている人々から学び、自分たちの住む「ふるさと川越」を知る機会を創出し、文化を学び育てる取組を推進します。 		
令和6年度の主な実績	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施 3学級 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校利用 181学級（小学校3年生:92学級、6年生:89学級） ・出前授業の実施 99学級 ・野外博物館教室の実施 12名 ・古文書講座の実施 延べ128名 ・民俗芸能実演の実施 283名 ・博物館歴史講座の実施 延べ312名 ・講演会等の実施 51名 		
現状・課題	<p>現状</p> <p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの要請で出前授業の講師として職員を派遣しています。毎年継続的に「川越まつり」に関する要望があり、その結果、内容も充実し、質的に向上していると認識しています。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校3、6年生による博物館を利用した郷土学習、学校からの依頼による出前授業の講師としての職員派遣を、各学校の学びの内容に配慮して実施しています。また、一般向けに川越の歴史・伝統文化に関連した講座・教室等を継続的に開催しています。 <p>課題</p> <p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童・生徒は毎年異なります。学習効果を高めるためには、事前に教員等と学習の進捗を確認し、内容を協議することが必要です。 ・多くの市民等に川越の歴史・伝統文化について、学びの機会を提供するに当たり、地域との協力体制の構築が求められます。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館での郷土学習、出前授業を実施する際には、引き続き各学校における川越の歴史・伝統文化の学びの内容に配慮して実施する必要があります。 ・一般向けの教室・講座等について継続的に実施するとともに、内容の充実及び申込みの手続き方法等の充実を図る必要があります。 		
課題解決のための取組	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの要請による出前授業の講師派遣や博物館での学習機会への資料提供に努めます。 ・学校を離れた地域活動に対し、講座等の支援や、これまでの調査に基づく成果等を通じた資料の提供について検討します。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との事前打ち合わせを密に行い、各学校における川越の歴史・伝統文化の学びの内容に配慮した学習内容の充実を努めます。 ・継続して実施する事業をより充実させるため、魅力的な内容の事業の実施に必要な体制構築及び手続き方法等の効率化に努めます。 		